

オの冬は寒く、寒いのは嫌いなので、このハワイのパンチボウルに奥さんと一緒に眠る予定だと。この墓地には沿道に多くのペナントが配置されていた。ベトナム戦争で亡くなった軍人の活躍を記念するものなどが多かったが、日本と関係するものは無かった。日系2世は米国の星条旗の下に主として欧州戦線で活躍したようだ。その勇敢さは今でも語り草になっている。



＜パンチボウルにて＞



＜お寺の親鸞像＞



＜パンチボウルのペナント＞

12) ノースショア (ハレイワ)

サーファーのメッカやドールガーデン

オアフ島の北西部を回るようになった。朝、反対車線の商業地の南部へ向かう国道は渋滞していた。ハワイでも通勤ラッシュがあるのだ。オアフ島の北西部にはハレイワというサーファーメッカがある。この辺りの波が高いようだ。ハワイの農産物であるサトウキビやパイナップルの生産は最近ではフィリピンなどとの競争で押されがちだ。沿道で、マンゴやパイアヤなどを屋台で販売している風景を見てインドネシアを思い出した。パイナップル農園はドールガーデンとなっていた。

13) ダイヤモンドヘッドへ登山

ワイキキから見たダイヤモンドヘッドは山頂が水平で尖っているようだが、登山口へ行ってみると火山の火口で回りが外輪山で囲まれている。ワイキキからの眺めだけで充分だが、古川氏の誘いで登ることにした。ハワイ観光のスポットの一つだが登山者は必ずしも多くない。火口の底に有料駐車場がある。所要時間は1時間ぐらい。山頂にはトーチカがある。山頂からワイキキを遠望は綺麗だし、海側を遠望すると水平線が丸くなっていて、地球が球体であることが理解できる。



＜ダイヤモンドヘッドからワイキキ遠望＞



＜ダイヤモンドヘッド山頂のトーチカ＞



14) カメハメハ大王銅像

ツアースポットとして忘れてはならないものにカメハメハ大王銅像がある。ワイキキとは離れていて、ハワイの官庁街に建っている。ハワイ王国はこのカメハメハ大王によって統一されたが、結局は合衆国に併合され50番目の州となった。少し西に移動すればあのパールハーバーがあるが、今回は敢えて訪問しなかった。大王の像の近くの大木が特に目についた。ハワイで大木が実に多い。前回訪れた時にはあまり気がつかなかったが、テレビでよく見る日立の「この木何の木？」が至る所で見られた。



＜カメハメハ大王銅像＞



15) アラモアナショッピングセンター (白木屋) やワイキキビーチ

このショッピングセンターもスポットの一つである。白木屋の中には日本食の弁当が所狭しと売られていたが、特に魅力的なものは見つからない。ハワイを離れる前日 折角来たのだからとワイキキビーチで少し泳ぐことにしたが、短時間なので甲羅干しにはならなかった。季節的な要因なのかそれとも景気が良くないのか、ビーチは予想したよりも混んではいなかった。ハワイの有名なホテルは大部分日本の会社が所有しているようで、日本人が遊びに来てお金を使い、それをまた日本へ送っている構図になっているのかな？ 熱帯地方に属しているのに、このワイキキは一年中同じような気候で、暑くもなく、寒くもなく、いつもそよ風が吹いて心地よい楽園である。熱帯地方なのに、年中過ぎ良い平和な楽園だと実感した次第。(完)